

平成21年度調査研究報告書一覧

(財) 年金シニアプラン総合研究機構では平成21年度の研究成果を公開しております。

タイトル	番号	主な内容（目次抜粋）	研究メンバー	定価
年金資産運用の手引き	21-1	前年度の「資産運用研修プログラムの開発」研究を引き継ぎ、同報告書「年金資産運用プロセスとリスク管理」の内容を見直すとともに、今般の金融危機にどのように対応したかについて年金基金関係者やコンサルティング会社役員による座談会やインタビューを実施した。これらを取りまとめて、一般販売書籍として刊行した。	福山圭一、長野誠治、菅谷和宏、谷本奈丘（年金シニアプラン総合研究機構）	2,100円 *賛助会員価格 1,680円
海外年金基金のESGファクターへの取り組みに関する調査研究	21-2	近年、世界的に広がりを見せているE（環境）・S（社会）・G（コーポレート・ガバナンス）ファクターを考慮した投資（ESG投資）について、欧米の主要な年金基金におけるベスト・プラクティスを、対面インタビュー等による調査にもとづき紹介した。そして、海外の現状を踏まえ、わが国におけるESG投資普及のための提言を行った。	河口真理子（大和総研）、寺山恵（マーサー・ジャパン）、宮井博（日興フィナンシャル・インテリジェンス）他5名	1,600円 *PDF版は無料ダウンロード可能
老後保障の観点から見た企業年金の評価に関する研究	21-5	老後保障に資する「理想的な」企業年金に求められる要件について、わが国の企業年金法制の基本構造と問題点を明らかにし、税制優遇を含めて考察を行った。 また、国内企業及び有識者に対して企業年金に関するアンケート調査を実施し、企業年金のあり方に関する考え方を明らかにした。	森戸英幸（上智大学）、稲垣誠一（一橋大学）、渡邊絹子（東海大学）、嵩さやか（東北大学）、臼杵政治（ニッセイ基礎研究所）、清水信広（農業者年金基金）、代田秀雄（三菱UFJ投信）、永野竜樹（RGアセットマネジメント）、河合壘（企業年金連合会）、他6名	1,900円 *PDF版は無料ダウンロード可能
老後保障の観点から見た企業年金の評価に関する研究（資料編：アンケート結果）	21-6	国内企業（1・2部上場企業、非上場企業）3,148社、及び各厚生年金基金、有識者（日本数理人学会員、日本年金学会員等）1,611人に対する「企業年金のあり方に関するアンケート」調査の集計結果及び詳細分析結果。	同上	1,600円 *PDF版は無料ダウンロード可能

※ 調査研究報告書をお求めの場合は、「[調査研究報告書購読申込書](#)」をFAXまたはE-Mail等でご送付ください。

※ 別途、実費分の送料を申し受けます。

●報告書の購入およびお問合せはこちらへ
 財団法人 年金シニアプラン総合研究機構
 〒108-0074 東京都港区高輪1-3-13
 NBF高輪ビル4F(総務企画部)
 TEL 03-5793-9411 FAX 03-5793-9413
 ■E-Mailアドレス:soumubu@nensoken.or.jp